

## その髪の毛を子供達の為に

### リサーチの背景

前職の美容師時代に、お客様の希望によりヘアドネーションのカットの経験をしたことがある。その時に初めて、ヘアドネーションの存在を知った。ウィッグを必要としている子供達と、そんな子供達の役に立ちたいという人を、ヘアドネーションという「髪を寄付する」ことで繋げていきたいと思い、本テーマについて取り上げる。

作成者: N.S.

レポートに関する  
お問い合わせ:  
03-5542-5300  
info@sinter.com

### ヘアドネーションカットの流れ



Before



髪を小さい束に分けて  
カット



束状のまま寄付団体へ  
送る



After

➤ 出典: JUNKUWANA

## 待ち望んでいる子供達がいる ヘアドネーション

ヘアドネーションとは、癌や白血病、先天性の無毛症、不慮の事故などにより髪の毛を失った子供達に、寄付された髪の毛を使用して、オーダーメイドの人毛医療用ウィッグを無償提供する活動である。寄付が必要とされる背景には、医療用小児ウィッグが10~30万円と高額であり、成長に合わせてメンテナンスしなければならない患者の経済的負担がある。また、1人分のウィッグを製作するには20人~30人分の髪が必要であり、多くの寄付を必要としている。

ヘアドネーションには、どのような条件があるのだろうか。団体によって多少異なるが、長さは基本31cm以上。殺菌の繁殖を防ぐ為、髪は乾いた状態のみとする。以上の条件さえ満たしていれば、性別問わずカラーやパーマ、白髪交じりやクセ毛であっても誰でも簡単に寄付することができる。

## その一歩が社会貢献に

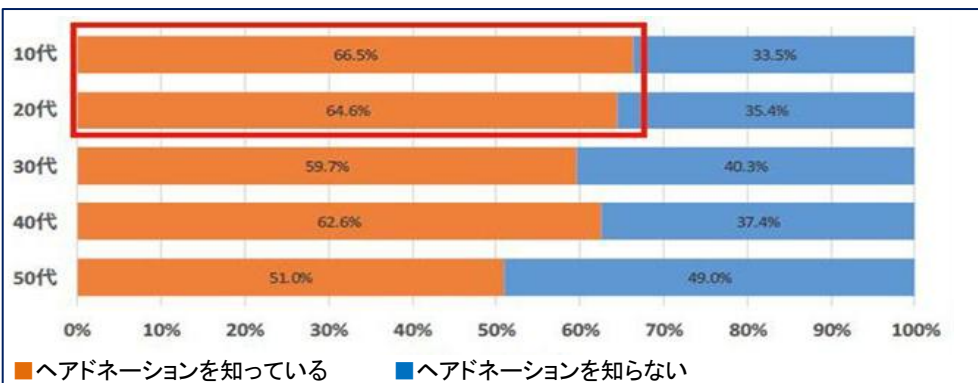
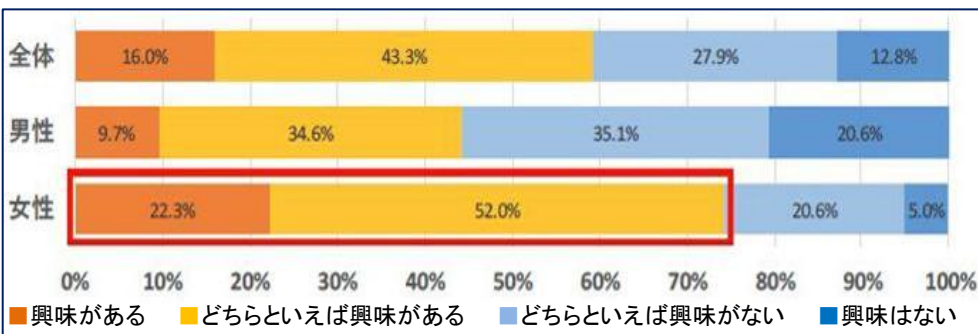
『ヘアドネーションに関する意識調査』の結果では、10代20代の6割がヘアドネーションを認知しており、女性に至っては8割を超えている。インスタグラムで「#ヘアドネーション」と検索すると149,000個もの投稿があり、興味関心の高さが伺える。

その一方で、やってみたいと回答した人は3割と少なく、興味はあるが不安を感じている人が多いのが現実だ。主な不安内容は、伸ばす事が大変、寄付できる条件が分からないなど。確かに規定の長さまで伸ばす事は大変ではあるが、前髪を切ったりパーマをかける事で雰囲気を変えて楽しむ事もできる。また長さが31cm以上であれば条件を満たせる為、興味は少しでもあるのなら、賛同サロンや行きつけのサロンに気軽に相談してみたい。

## カットから広がる笑顔の輪

賛同サロン数やSNSの投稿数が多数ある割に、世の中に浸透していない現実がある。私自身、勤務しているサロンは賛同サロンではなかったがヘアドネーションカットをした事がある。カットをする側としては難しい事はなかった。むしろ通常なら廃棄されてしまうその髪が社会貢献に繋がるのであれば、よりヘアドネーションを推奨し、社会に貢献したいと考えた。美容師側も難しく考えずバツサリ切るお客様がいた時にはヘアドネーションを提案してみたい。近い将来、たくさんの悩みを抱えた子供達全員が笑顔になって行くことを願う。

## 女性の約8割がヘアドネーションに興味あり



▶出典: 株式会社アデランス「ヘアドネーションに関する意識調査」

## 日本のヘアドネーション実績

◆現在までのウィッグ提供人数  
**429人**

◆現在ウィッグを待っている人数  
**305人**

◆現在の賛同サロン数  
**4,203店**  
(全国のサロン数: 24万7578店)



▶出典: JHD&C (2020年2月7日)

## 寄付を実践した人の中には芸能人や小学生の男の子も！

若年層の認知度が高い理由として、SNSの普及と有名人の寄付が影響していると考えられる。ダレノガレ明美さん、柴咲コウさん、水野美紀さん、片瀬那奈さん、ベッキーさん、熊田曜子さんといった芸能人も続々とヘアドネーションを行い話題となった。

男性からの寄付は全体の10%程度、小学生となると数%しかいない中、小学男児がヘアドネーションを実践した例も多数ある。周りの目や女の子に間違われることもありながらも、寄付をすることをやめず、中には2度目の寄付に挑戦する男児もいる。

缶バッジを作成し、年齢性別問わず認知度を広める活動している中学生の女の子は支援を募るプロジェクトの傍ら、自身も2回目のヘアドネーションへ挑戦している。



▶出典: GoodMorning  
社会問題と向き合う人のクラウドファンディング

## 参照・引用資料

▶NPO法人JHD&C: <https://www.jhdac.org/>

▶つな髪: <https://www.organic-cotton-wig-assoc.jp/>

▶東京新聞「男子もヘアドネーション知ってほしい杉並の小3自由研究」2019年9月2日

<https://www.tokyo-np.co.jp/article/feature/tsearch/list/CK2019090202000147.html>

▶GoodMorning: 「300個の缶バッジを作って「ヘアドネーションマーク」を性別年齢関係なく広めたい！」

<https://camp-fire.jp/projects/172817/activities/90827>

本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。

本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。株式会社サティスファクトリーは、本レポートの配信に関して閲覧した方が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。

また、本件に関する知的著作権は株式会社サティスファクトリーに帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。